

今年もやっています！

武者人形展！

4月12日(日)からゴールデンウィーク最終日の5月6日(水)まで、陣屋資料館の恒例行事になりました「武者人形展」を開催しています。凛々しくも雄々しい顔立ちの五月人形が、陣屋資料館ロビーで一同に紹介します。端午の節句に武者人形や五月人形、鯉のぼりを飾る習慣は、古くは江戸時代の頃から行われていました。鎧兜には男子の身体を守る願いが込められ、また鯉のぼりには男子の立身出世を祈願する意味があります。GWの予定が決まりでない方は、是非ご家族で遊びにいらして下さい。

入館料：大人 300 円 小中生 150 円

(町内の方は、期間中の入館料が無料です)



「子どもの日企画」のお知らせ

- 日時 5月5日(火) 10時～12時
- 場所 仙台藩元陣屋資料館
- 催し 鎧兜試着体験、手焼き煎餅焼き体験、抹茶点出し、絵本読み聞かせ、折り紙兜作り、クイズラリー、ほか
- 備考 予約不要、参加費不要



<2010年の「アイヌ文化フェスティバル」のとき(上)より、パワーアップします>

資料館ではこれまで何回かの展示会を実施してきましたが、近年になって道内ではまだ公開されていない遺品の存在が明らかになりました。ご親族が大切に遺された資料をお借りしてきますので、どうぞ楽しみにお待ちください。

仙台陣屋 かわら版

第117号

(平成27年5月号)

発行: 仙台藩白老元陣屋資料館

〒059-0912 白老町陣屋町 681-4

TEL&FAX 0144-85-2666

早めのお知らせ

夏の展示会ほ…

陣屋資料館では、夏の展示会に向けた準備を始めています。例年ですと3月から5月上旬に実施していた「歴史と文化のまちPR展示事業」を今年は7月～8月で行うことにしました。アイヌ文化振興・研究推進機構の補助金を活用し、地域医療に貢献した高橋房次医師(明治15年～昭和35年)について紹介します。

白老の大きな財産

新たな伝統文化継承者を認定

永年にわたる文化伝承や普及に活躍されてきた4名を、このたび、白老町の新たな無形民俗文化財「伝統文化継承者」として認定いたしました。

認定式は3月30日(月)にコミセンを会場に実施し、関係者およびご親族も駆けつけたなか、野瀬教育委員より認定書が渡されました。

皆さんの継承内容を、簡単に紹介します。

- ・須貝千代雄さん (84歳) 虎杖浜越後盆踊りの唄
- ・本間ユキ子さん (80歳) 虎杖浜越後盆踊りの踊り
- ・岡田育子さん (66歳) アイヌ文化の刺繍・縫製
- ・高橋志保子さん (65歳) アイヌ文化の舞踊・唄

初の認定となった虎杖浜越後盆踊りの担い手2名とアイヌ文化の伝承者2名を加え、白老町では計22名の継承者を登録したことになります。認定書の授与にあたり野瀬教育委員は、「アイヌ文化も越後盆踊りも北海道の象徴的な文化であり、白老の欠かせない財産であると考えています。」と、郷土の文化・技術を伝え残すことの大切さを述べられました。また文化財等運営審議会の中村齋会長は「おめでとうよりも、ありがとうを言いたい。」と、伝承者の皆さんに対する敬意と感謝を口にされました。



＜教育委員、教育長、文化財等運営審議会委員と共に記念撮影＞



△認定書を手に。上から、須貝千代雄さん、本間ユキ子さん、岡田育子さん、高橋志保子さん▽

はじめまして

4月から仙台藩白老元陣屋資料館の臨時職員として勤務することになりました、工藤大です。小さいころから遺跡や化石といったものに興味があり、学芸員になりたいという思いが高じて札幌大学に入学しました。特にアイヌ文化期と呼ばれる時代の遺構であるチャシを専門に勉強し、また大学院ではアイヌ文化期に先立つ擦文文化について勉強しました。昨年まで斜里町立知床博物館で発掘調査員として勤務していましたが、縁があって白老町にやってきました。

町の歴史は勉強の途中ですが、専門分野を活かした考古学講座や、昔の暮らしの体験などを行っていきたく考えています。精いっぱい務めていきますので、よろしくお願いします。



「仙台陣屋かわら版117号(平成27年5月号)」

発行日:平成27年4月21日(火)

発行所:仙台藩白老元陣屋資料館 担当者:平野・工藤

<http://www.town.shiraoka.lg.jp/bunsho/jinval/>

Mail: jinya@town.shiraoka.lg.jp

TEL:099-26000